

令和7年度第3回瑞浪市地域公共交通協議会 会議録

会議の日時 令和7年10月15日（水）10時00分
会議の場所 瑞浪市役所 4階全員協議会室
出席委員 出席委員 18名
勝 康弘委員、磯部 友彦委員、下平 真一郎委員、高柿 弘義委員、
市橋 ますみ氏（代理）、平田 宏保委員、牧村 潤一委員、中島 喜久夫氏（代理）、
藤田 明博氏（代理）、楠本 佳寛委員、永井 泰孝委員、山田 和洋委員、
安藤 孝司氏（代理）、成瀬 貴之委員、小木曾 昌弘委員、廣瀬 浩一郎委員、
鈴木 創造委員、中村 恵嗣委員
事務局 足立 寛聡、加藤 聖也、小木曾 なつ

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・議 長 選 出：磯部委員

3. 協議事項

東鉄バス明智線の400円上限運賃制度について

事務局

（資料に基づき説明。）

【意見・質問】

下平委員

昨年から議論していた内容が決着つきそうでよかったと思う。
運賃の収受の仕方はどのような形を想定しているのか。

事務局

運賃表のところに、瑞浪市内の乗降については上限が400円である旨を掲示し、自己申告で運賃を投入してもらう形を想定している。

下平委員

運転手が顔見知りであるような普段からよく利用している方については、「今まで500円だったけど400円になったよ」といったようなやりとりがあって、400円払って降りるような形か。

事務局

そういったことを想定している。市としては、上限運賃制度が導入されることについて、周知を積極的に行っていく。

議長（磯部委員）

心配なのは、地域の方が理解できるかということと、もう一つは、差額分は東鉄の取り分になるがどのように記録するのか。

事務局

毎月東鉄が1日から7日の間に行っている乗降調査と定期券購入実績等をもとに、400円上限を行った場合おける年間の減収想定額を計算していただき、その分を市が補助を行う予定である。

議長（磯部委員）

運転手が記録をするのであれば、結構な負担になると思ったので確認した。

事務局

400円とした場合には支払いを間違えてしまうのではないかと意見をいただいたが、恵那市では現在200円の上限運賃制度を導入しており、同様に200円上限である旨を掲載する方式で行っているが、問題は起こっていないと聞いている。

→承認

4. 報告事項

(1) 東鉄バス明智線を利用する高校生の定期補助について

事務局

(資料に基づき説明。)

【意見・質問】

永井委員

このような補助をいただき感謝する。

一つ確認したいが、市域を跨いで通学している高校生も対象となるか。

事務局

瑞浪市に住民登録がある方は対象である。

山田委員

周知が1月からとなっているが、11月に東鉄との協議が終わるのであれば、12月から周知を始めることはできないのか。受験生の家族にとって、進路を検討する際に必要な情報であり、この時期の1ヶ月の差は大きい。

事務局

ご意見を踏まえ、東鉄との協議が調い次第周知を行っていく。ただし、まだ来年度予算の議決前であるため、予算の議決が得られた場合といったような一文を添えた上で周知を行う。

(2) 自動運転の公道実証運行について

事務局

(資料に基づき説明。)

【意見・質問】

平田委員

土岐市で実証運行が始まっているが、低速の運行であるため、交通整理をして欲しい等の苦情が警察署に入っている。警察署は自動運転の窓口ではないため、対応が困難である。周知をする際に担当窓口を明らかにしてほしい。

事務局

周知については、広報11月号にて掲載する予定である。その中で、瑞浪駅から市役所までの間を低速で運行するため、ご理解とご協力をお願いする一文を目立つように掲載する予定である。窓口については市の商工観光課であることを掲載する。

下平委員

岐阜市が今年度の後半にレベル4で岐阜駅から岐阜公園まで自動運転バスを運行する予定である。先行している岐阜市の会議では、市民アンケートを頻繁に実施しており、実際に乗車した人からの社会的受容性が上がっていると報告を受けた。30分に一本と多くの便数を運行する

ので、学校の行事や老人クラブの活動などに声かけを行い、たくさんの人に乗ってもらえれば、低速で走る事や危ない乗り物ではないことを理解してもらえるのではないかと。岐阜市の取組を参考にしてみようと思う。

山田委員

何人乗りの車両で、どの程度の速度が出るのか。土岐市の自動運転に乗車したが、乗っている時はこういう乗り物だと思えば苦痛ではなかったが、自動車でバスの後ろを付いて運転した時は苦痛だった。これが実際に感じる感想だと思う。

事務局

車両の定員は23名だが、自動運転時の定員は16名、今回の実証運行時は定員13名で検討している。速度については、調律走行をして確認を行った上で運行するため、現状は未定だが、35km/hを目指す。

山田委員

他の地域より車両が大きく、一度に多くの人数が乗車できるので、皆さんに乗っていただければと思う。

気になっているのは、地域の方の路上駐車が走行の支障になると思うが、案内はどうなっているか。土岐市では周知を徹底して行ったようだが、荷物を搬入する車両が止まっていると渋滞になったと聞いた。駅前のロータリーを含めて案内状況を確認したい。

事務局

現時点で周知は行っていないため、今後、実証運行に向けて周知していく。

議長（磯部委員）

レベル2は運転手がいるため、危ないところは運転手が対応するが、レベル4を目指すのであれば、できるだけ運転手の介入がない状態の道であった方が良くと思う。駐停車が多く、介入ばかりしていると中々レベル4に行きつかない。自動運転を実現していくためには、乗る人の社会的受容性も必要であるが、地域の方の理解も必要であり、社会全体としての事業として容認して育てていく必要がある。

楠本委員

瑞浪駅のロータリーを通られるので、JRとしても連携してやっていきたいと思う。

一つ確認したいのが、今後の実証運行で特に問題がなければ、公立東濃中部医療センターを結ぶルートで調整をするということではなかったか。

事務局

今回の運行は、自動運転そのものが可能かどうかを検証するものである。可能であった場合は、令和11年度に東濃厚生病院から公立東濃中部医療センターを、レベル4で有償にて運行できるかどうかを検討する予定である。そこに向けて検証を行う中で、問題があった場合は中止となる場合もある。あくまで可能性を検証するものである。

議長（磯部委員）

この協議会では、将来のことも気にしているので、この実証運行が終わったら何らかの報告をお願いする。その際には今後のスケジュール感も紹介してもらえるといい。

(3) 陶デマンド交通の運行開始について

事務局

(資料に基づき説明。)

【意見・質問】

小木曾委員

どの程度の利用を想定していたか。

事務局

令和6年度のコミュニティバス陶線の年間利用者数は504人だったため、その程度を見込んでいる。

議長（磯部委員）

今後実績が出ると思うので、また報告をお願いしたい。利用者数だけで善し悪しが判断できないと思うので、違った形の評価も工夫できると良いと思う。

(4) AIオンデマンド交通の視察について

事務局

(資料に基づき説明。)

【意見・質問】

質疑なし。

5. その他

公立東濃中部医療センターへの交通手段について

事務局

今年度、デマンド交通の利用促進のため、各区長会へ出向いた際に、各地域からデマンド交通を新病院まで接続してほしいといった要望があった。運行事業者と運行が可能か検討を行ったが、運転手不足の中、新病院まで延伸した上で現状の交通体系を維持することは困難であるといった結果となった。

新病院までの交通手段は、現在、市の福祉部門と厚生連においてシャトルバスの運行について協議を行っている。市としては、そのシャトルバスにコミュニティバスやデマンド交通を接続することで、現状の交通体系を維持し、新病院までの移動手段を確保できるものとする。シャトルバスの現状について、健康福祉部長より説明いただきたい。

小木曾委員

新病院へのアクセスについては、厚生連、瑞浪市、恵那市で協議を進めてきた。協議の結果、東濃厚生病院から新病院へのシャトルバスを運行する方向で進めている。シャトルバスの運行は、新病院の指定管理者であるJA厚生連様の事業として実施いただく予定である。東濃厚生病院は、一部の建物を活用して、診療所の機能を残していただける。

瑞浪市は集落が点在している地形であり、それぞれの地区から直接新病院まで行く路線を引くことは、現状困難である。しかし、本市のコミュニティバスとデマンド交通の全ての便と、恵那市の山岡から来る便が東濃厚生病院を経由する形となっているため、こちらを乗換地点として、新病院へのシャトルバスを運行する仕組みを検討している。なお、陶方面の方については、患者さん専用のけんこう号も継続して運行いただけると聞いている。また、東鉄バス明智線の最寄りバス停から少し歩いていただいて、シャトルバスに乗り換えていただくことになるかと思う。

現在は、厚生連と瑞浪市、そして運行事業者においてコミュニティバス・デマンド交通とシャトルバスがうまく接続できるよう、具体的な運行時刻や便数、バス停の位置を協議している。ダイヤについては、近日中に決まる予定であるため、間に合えば11月7日の連合自治会でお知らせした上で、広報12月号にて市民の皆様へ周知したいと考えている。

議長（磯部委員）

地域公共交通会議として確認したい点は、このシャトルバスは有料か無料どちらか。

小木曾委員

無料シャトルバスを想定している。

議長（磯部委員）

無料であれば地域公共交通会議の案件ではなくなる。

下平委員

土岐市と瑞浪市での共同運行といった検討はされたのか。

小木曾委員

土岐市と瑞浪市で組合を作っており、そちらの中でも話題になったが、無理だという結論に至った。

議長（磯部委員）

利用者にとって利益のあることなので、情報提供をしていかなければならない時期に来ている。早目の周知をお願いしたいと思う。

6. 閉会

10時55分閉会

令和7年10月29日

議事録署名者 中村 恵嗣